

酒米検討会の開催

農総研では、平成19年度から酒米「祝」の品質改善と、「北陸200号」の掛米適性について検討しており、今後、伏見酒造組合の協力を得て、酒造適性の評価を実施します。これらの取り組みを円滑に進めるため、10月5日に、伏見酒造組合、JA全農京都、JA京都中央会及び府関係機関から計28名の参加を得て、酒米検討会を開催しました。

「祝」及び「北陸200号」の成熟期の姿を観察するとともに、日本酒をとりまく情勢や酒米振興の方向等について意見を交換しました。



検討会及び圃場観察の様子